

平成29年度第2回花巻市介護保険運営協議会会議録

1 開催日時 平成30年2月8日（木）午後1時30分～午後3時00分

2 開催場所 花巻市南万丁目970番地5 花巻保健センター 2階 集団指導室

3 出席者等

(1) 委員 13名

橋本純子委員、鎌田政子委員、朝倉千里委員、狩野隆史委員、佐々木一広委員、伊藤芳江委員、高橋照幸委員、高橋修委員、平澤智子委員、小木田勇輝委員、畠山良彦委員、影山一男委員、伊藤昇委員

(2) 欠席した委員 5名

伊藤成子委員、内館憲二委員、藤本莞爾委員、熊谷雅順委員、高橋岳志委員

(3) 事務局 9名

健康福祉部長 熊谷嘉哉、長寿福祉課長 佐藤拓史、健康づくり課課長補佐 植田恵美子、長寿福祉課課長補佐松田隆、同課課長補佐 久保田和子、同課高齢福祉係長 齊藤光政、同課包括支援係長 高橋朱里、同課介護給付係主任主査兼係長 佐藤ひとみ、同課介護認定係長 有戸裕美子

(4) 傍聴者 1名

(5) 報道関係 岩手日日新聞社 1名

4 協議事項

(1) 花巻市高齢者いきいきプラン（案）について

5 会議内容は、次のとおりである。

(1) 開 会 （松田補佐）

ただいまから平成29年度第2回花巻市介護保険運営協議会を開催する。委員各位には、大変お忙しい中ご出席賜り、感謝申し上げます。

(2) あいさつ （熊谷健康福祉部長）

本日は、委員各位にはご多用の中平成29年度第2回花巻市介護保険運営協議会にご出席賜り感謝申し上げます。また、日頃、当市の介護保険の運営に際しましては、多大なるご協力・ご支援を賜り感謝申し上げます。現在、第6期介護保険事業計画の最終年度である。平成29年3月末で当市の高齢化率は、32.7%であった。この3年間の介護保険事業計画期間内での事業費は、計画の94.3%という見込みで推移しており、概ね計画の範囲内となっている。本日協議いただく、花巻市高齢者いきいきプラン（案）、花巻市高齢者福祉計画並びに第7期介護保険事業計画であります。策定に向け、日常生活圏域ニーズ調査或いは在宅介護実態調査を実施しながら、市内の実態把握に努めてきたところである。8月に開催

した第1回花巻市介護保険運営協議会で説明したが、介護保険制度にかかる国の制度改正と介護保険事業計画に関する国の基本指針に沿いながら、プランの素案を作成したところである。プランにおいては、国が示す地域包括ケアシステムの充実に向けた施策のほか、平成30年度から平成32年度まで3年間の介護給付の見込み、或いは介護保険料の設定など盛り込んだところである。このいきいきプランをよりよいものにするため、委員各位からさまざまなご意見を伺いながら策定して参りたいと思っている。計画について、委員各位からご意見を伺ったものについて手直しし、3月に第3回の運営協議会を開催して成案としたいと考えているので、それぞれの立場からご意見をいただきたいと思っている。本日はよろしくお願い申し上げます。

(3) 会長あいさつ（影山会長）

本日は、お忙しい中この会議にご参集いただき感謝申し上げます。先ほど熊谷部長から話があったように、本日の運営協議会は花巻市高齢者いきいきプランの策定にあたり、審議検討するという機会であるため、委員の立場からさまざまなご意見を伺いたい。本日はよろしくお願いしたい。

<出席状況の報告>（松田補佐）

協議に入る前に本日の出席状況を報告する。委員18名中出席した委員13名、欠席した委員5名である。花巻市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定により、委員の過半数以上の出席をいただいているため、本会議は成立することを報告する。それでは、協議に移らせていただく。

会議の議長は、規則第4条第2項の規定により会長にお願いすることになっているため、影山会長よろしくお願いしたい。

<追加資料の確認>（久保田補佐）

本日追加した資料は、3つある。一つ目は花巻市高齢者いきいきプラン（素案）概要版、二つ目は花巻市高齢者いきいきプランにかかる第6期の振り返りと第7期の取り組み、三つ目は委員各位からご意見を集約する用紙である。また、既に配布している花巻市高齢者いきいきプラン（素案）の正誤表を配布するので修正及び確認をお願いしたい。

(4) 協議（影山会長）

それでは、次第に沿って4協議に移る。資料に基づきまして、議題(1)花巻市高齢者いきいきプラン（案）について、花巻市高齢者いきいきプラン（素案）と概要版を中心に比較しながら、説明をお願いしたい。

佐藤課長が花巻市高齢者いきいきプラン（案）について、花巻市高齢者いきいきプラン（素案）概要版と花巻市高齢者いきいきプランにかかる第6期の振り返りと第7期の取り組みを中心に説明した。

質疑応答

（影山会長）

ただいまの説明について、各委員からご質問があったらお願いしたい。

概要版＜１計画の趣旨＞＜２計画の法的位置づけ＞＜３計画の期間＞＜４計画の策定体制＞は、素案第１章に関わってくるところである。ご意見・ご質問をお願いしたい。

素案１頁第１章計画策定にあたっての１計画策定の背景について、１段落目に「介護保険制度が創設された」とあり、２段落目に「一方、平成３７年（２０２５年）になれば団塊世代全てが７５歳以上になる」があり、３段落目に「その一方で高齢化が進む中、高齢者を支えている介護保険制度を維持していくためにどうすることが必要なことか」があり、この間の見直しに関することが４段落目にあるが、第２段落目と第３段落目に一方その一方でという表現は、文章のおさまりが悪いように感じられるので表現の工夫が必要と思う。

（高橋（照）委員）

素案１頁第１章計画策定にあたっての１計画策定の背景について、３段落の包括的に確保される体制（以下、「地域包括システム」という。）を地域の実情に応じて充実させていくことが重要であるとするが、地域の実情というのは、ハード面の色々な施設や医療関係とか、そういったものも含めて、地域の人口構成や他職種の年齢などをすべて網羅させた形の中で、充実させていくということで捉えてよいか。例えば、高齢者が大勢いる中で、支え手がない地域もあれば、町中のように人口は多いが、支えようとする意識が薄い地域がある。ハード的な面で捉えれば、施設や医療機関があっても、支え手の部分で弱いような気がしている。そのような部分を圏域毎に充実させていくという考え方でよいか。

（熊谷健康福祉部長）

この地域の実情というところには、２つの視点がある。まず、一つ目は、他市町村と花巻市とを比較した部分、二つ目は、花巻市の中にはそれぞれの地域があるので、そうした地域の実情に合わせてという部分での意味合いを込めた書き方をしている。一定程度的花巻市全体で同じ動きをする中でも、例えば先ほどお話しがあった後段でいえば、それぞれの地域で医療環境や介護環境、人口構成に違いがあるので、そうした実情の中で工夫したり、なんらかの手当てをしたり等、内容を含めたということでご理解をいただきたい。

（影山会長）

概要版＜５計画の基本目標＞＜６計画の施策目標＞＜７地域包括ケアシステムの体制整備＞は、素案第３章に関わってくるところである。ご意見・ご質問をお願いしたい。

（高橋（照）委員）

素案２１頁第３章計画の基本的な施策目標について、１計画の基本目標の中の【基本姿勢１】地域力の向上、【基本姿勢２】「生涯、現役」精神の啓発とあげているが、福祉サイドに立った物事の見方というものは、どうしても限られてくる部分がある。これから、地域の皆さんを支えていくために、意識を高めていくことが益々重要になってくるということは、その通りのことだが、各地域でのコミュニティ会議との連携の中で、振興センターに情報を集約するという仕組みも合わせて入ったという考え方でよいか。

（熊谷健康福祉部長）

今進めている、地域組織やNPOにおける生活支援サービスという部分では、必ずしも振興センターというかコミュニティを中心とした組織でやっていただきたいということは申し上げていない。地域によっていろいろな実情があり、団体等組織の立ち上げの状況などさまざま違いはあるわけなので、例えば一方にそうした組織があるが、もう片方にはないところもあるため、一律にそのような考え方ではなく、地域の実情に合わせた組織づくりというものをお願いしている。

私達は今、地域力を高めるという考えのもとで、振興センター単位に出向き色々なお話をさせていただき、動き始めたところの中には、振興センター単位で活動しているところもあれば、行政区単位で活動しているところもある。形態は特にこだわらず、それぞれの地域が持っている既存の団体の力を借りるなど、状況を踏まえながらお願いしているという現状である。

すべて、振興センターと情報共有しながら動いていただくというところには至っていないところである。

（影山会長）

概要版＜8第6期計画の振り返りから見えた課題＞は、素案第2章に関わってくるところであり、第2章は、第4章にも関連している。概要版＜9施策の体系＞は、素案第3章に関わっており、＜10人口の推移と将来推計＞＜11要介護認定者数の推計＞は、素案第2章に関わっている。素案の報告は、2つの調査結果からみる日常生活圏域に関する分析がある。第2章の5頁から14頁までは、圏域毎の課題や地域の実情の関係で、非常に重要な項目になっている。ご意見・ご質問をお願いしたい。

（高橋（照）委員）

素案6調査結果から見えた各日常生活圏域の高齢者像の課題の見方について伺う。例えば11頁③「大迫圏域」の課題について、高齢者像からみた地域分析の介護予防事業対象状況とあるが、一般高齢者、要支援ともに「閉じこもり傾向リスク者」の出現率が市平均値より15.7・2.9ポイント高いとあり二つの数字があげられているが、どのように解釈したらよいか。

（熊谷健康福祉部長）

前段の15.7ポイントが一般高齢者の数字であり、後段の2.9ポイントが要支援者の数字である。

（影山会長）

素案9頁から14頁6調査結果から見えた各日常生活圏域の高齢者像の各圏域毎の課題について、市の平均値との乖離が2.0ポイント以上のケースを掲載しているということであるが、①「花巻中央圏域」の課題でいえば、高齢者像からみた地域分析の介護予防事業対象状況の要支援者で「運動器の機能低下リスク者」の出現率が市平均値より2.6ポイント高いとあるが、ここでのいう、運動機能低下リスク者への対応が必要だという課題があるということになるのか。

（佐藤課長）

今のお話しのとおり2.6ポイント高いということで課題としてあげている。

(影山会長)

別に報告書があるということを明示すればより解りやすいかとかと思う。

(橋本委員)

他市町村資料では、市平均値より何ポイント高いとか低いとかと書かれてあった。

市の平均値がわかるような形に記載にした方がよいのではないか。

県内、みな同じ形で調査されていると思うが、内容がまちまちであるような感覚もある。これらは、課題だけ拾ったからこのような形になっているのか、それとも調査するときにバラバラな形で結果がでてきているのか。

(佐藤課長)

中央圏域の課題の下のところを参照願いたい、市平均値との乖離が2.0ポイント以上のケースのみ掲載させて頂いているため、圏域毎に課題としてあげた内容になっている。

(影山会長)

少し解りづらいように思うので、例えば急性期の運動器の機能低下リスク者の出現率が市平均値(〇〇)より2.6ポイント高いというように、()書きで市平均値を明示してもらえれば、花巻圏域がどの程度であるかより解りやすくなる。

(佐々木委員)

調査結果分析について、圏域を比較した場合、大迫地域は数値的に高い。一番課題の多い地域になってみえる。市の平均値は、どのレベルにあるのか。また、全国や県内の中ではどうかなど、比較するものがあれば見え方が全然違ってくるのではないかと思う。おそらく大迫地域は、人口規模や社会資源規模の違いもあり、課題が多く上がりやすいのだと思う。レベルが解らないと解釈も違ってくるのではないかと思った。

(佐藤課長)

早急に検討したいと思う。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書であるが、8月に行われた運営協議会時にお配りした報告書の内容ではあるが、合わせて検討したい。

(影山会長))

花巻市高齢者いきいきプランにかかる第6期の振り返りと第7期の取り組み 施策目標Ⅰ 高齢者の積極的な社会参加への推進について 素案25頁、26頁 第4章施策の展開に関わる場所である。ご意見・ご質問があったらお願いしたい。

(狩野委員)

「通いの場」の評価指標の考え方について、「通いの場」の最初の立ち上げは、92か所であった。

これから増えるということは非常に難しいのではないかとみている。介護予防の取り組みの方が重要であると思うため、多めに計上しない方がよいのではないか。やり方も方法は沢山あるかとは思いますが、件数を増やすというよりは、中身を充実させた方がよいのではないか。毎年2、3か所ずつ増やすくらいでよいのではないかと思う。

（高橋（照）委員）

施策目標Ⅰ老人クラブ活動の支援について、老人クラブの活動が減少しつつあるというのはその通りのことだが、高齢者の積極的な社会参加という部分の中で、老人クラブであれば既存のクラブ数がどうなったということを把握できると思うが、それ以外に花巻市内で高齢者が楽しみながら集える場所など地域の中で活動している人達もいるようだ。そういった方々の把握も必要なのではないか。把握は非常に難しいことと理解はするが、別な形では延びているので、大切にしていかなければならないと思う。

（佐藤課長）

どのような活動があるのかというのは、現時点では、把握していないが、今後皆さまとお話ししながら検討していきたい。

（狩野委員）

文化会館のそばにひろし食堂という高齢者が集える家を大谷会で開所し、年間3,600人ほどの利用があった。内容としては、踊り、麻雀・囲碁、将棋、カラオケなど自由に出入りできる環境にある。利用料は、座敷の利用で、午前100円、午後100円いただくが、いただいた利用料はお茶代に充てている。いつでも自由に気軽に利用できるのが利点だ。あまりしぼりのない方が、集まりやすいようだ。振興センターに補助を求めたが、あくまでも場所を提供しているという理由で対象外ということであった。その辺のところで柔軟に対応いただければ、利用される方々のために何かできるかと思っている。介護予防に関しては、特にもカラオケ・麻雀は効果的である。

（熊谷健康福祉部長）

素案26頁（2）高齢者の就労支援の①生きがい就労創出事業について、平成28年度から始めた事業であるが、高齢者が集いコミュニティカフェを運営しながら、いつでも気軽に利用できる場づくりをしている団体もある。市内で高齢者が活動している団体は沢山あるが、一方で、市としては、そうした就労の場にもつなげられるような支援もしており、引き続き行っていただきたいという趣旨のもとで掲載したのでご紹介させていただく。

「通いの場」の支援であるが、決して私たちは強く進めているというわけではない。一応現時点の数からみると、来年度からの評価指標100、105、110の目標は高く設定しているつもりはない。いずれ、地域の意向に基づいて支援をさせていただくという趣旨であり、ここ何年かの間に急激に増加したが、その勢いで設定したわけではなく、平成29年度がある程度のピークになってきているので、状況をみながら拡大させていきたいと思っている。

(影山会長)

施策目標Ⅱ高齢者の健康づくりについて、ご意見、ご質問があったらお願いしたい。

(なし)

施策目標Ⅲ安心して生活できる環境づくりについて、ご意見、ご質問があったらお願いしたい。

(平澤委員)

素案 35 頁《花巻における在宅医療・介護連携に関する取り組み》の協議体イメージ図について、この中で各職能団体等入りながら多職種が関わり協議体を作り取り組むことは理解した。医師会の左隣にある看護管理者会というのは、花巻地区の病院施設の看護管理者の集まりではないかと思うが、一般の方々には理解が難しいのではないかと思う。看護管理者会を説明するには、例えば「病院施設」等わかりやすく明示した方がよい。

(佐藤課長)

参考にさせていただく。

(狩野委員)

素案 35 頁《花巻における在宅医療・介護連携に関する取り組み》の協議体イメージ図について、介護支援事業所連絡協議会とあるが何か。

(高橋係長)

介護支援専門員連絡協議会の誤りである。

(影山会長)

素案 35 頁《花巻における在宅医療・介護連携に関する取り組み》の協議体イメージ図について、補足説明があれば米印で明示した方がよい。

(高橋(照)委員)

素案 37 頁(4)認知症政策の推進の一段落と、①認知症の普及啓発とあるので、認知症施策の普及啓発などに修正したほうがよい。

(平澤委員)

医療と介護の連携について、多職種がかかわり支えていくために、花巻市も岩手中部医療情報ネットワークに参画していると思うが、そのネットワークは、第一次稼働が始まり、次は第二次、第三次となり、第三次になると介護施設を含めてネットワークにつなげていくという形になり、よりタイムリーな情報提供がなされるようになるが、この点については、どのように考えているか。

(佐藤課長)

素案 36 頁 ②二次医療圏内・関連市町の連携という項目で、岩手中部地域医療情報ネットワーク

へ参画し連携を図る予定である。

(平澤委員)

資料(花巻市高齢者いきいきプランにかかる第6期の振り返りと第7期の取り組み)＜評価指標＞に、認知症サポーター1人当たり担当高齢者数とあるが、どのような形を評価するのか。

(熊谷健康福祉部長)

実際にサポーター養成講座を受けた方が高齢者を個別に担当するという事ではない。講座で学んだことを周囲にお知らせしてもらうというのもサポーター養成の目的のひとつである。その方が何人の認知症高齢者と関わっているかという把握は難しいため、単に認知症の方の数をサポーター養成した数で割った値を評価指標とした。できるだけ解りやすくするため、認知症サポーターの養成講座数、年間養成数、養成総数、一人当たりの担当高齢者数と設定した。

(佐藤課長)

資料は、素案 68 頁④認知症サポーターの養成と活用のところにある。解りやすく明示した。

(影山会長)

施策目標Ⅳ介護サービスの充実のところについてご意見、ご質問があったらお願いしたい。
新規の取り組みのところで、介護を支えていくにはどうするかなど全国的な課題である。

(高橋(照)委員)

高校生を対象とした介護人材の育成は良いことだと思う。先日会議に行ったところ次のような話があった。中学校・高校の教員が福祉についてはあまり詳しくないとの話があった。福祉は、こういうところがありこのような仕事をしているというところまで、なかなか生徒に伝わりにくいようだ。担当する先生方にも福祉の現場の中で体験していただき、福祉の仕事について関心をもってもらい生徒に接していただくと、より効果的になるのではないかと思う。

(影山会長)

途中ではあるが、時間であるため、終了とする。3月に今回の意見を反映させた素案がでるということである。また、本日配布した資料の中にご意見・ご質問を寄せられる用紙が入っている。素案第5章介護保険給付費の見込みと保険料の算出についても、ご意見等ある方は、2月28日までにFAXまたは直接長寿福祉課宛てに提出願いたい。

(5) 開 会 (松田補佐)

本日は、時間のない中、沢山審議をいただき感謝申し上げます。足りなかった部分については、お配りした用紙にて長寿福祉課宛てにご意見をお寄せ願いたい。

これをもって、平成29年度第2回花巻市介護保険運営協議会を閉会する。